

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2022年9月15日 377号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-0021

大阪府大阪市港区築港1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

kensetsu @ crux. ocn. ne. jp

全港湾建設支部第50回大会を迎えるにあたって

3年越しのコロナ禍の中で50度目の大会を迎えることとなりました。第6波が終息した春先には、コロナ変種株のオミクロンは、感染拡大力は早いですが重症化する率はワクチン接種率も高くなっているため、それほどのことにはならないとして、「これでコロナの終息期にはいって、日常生活への復帰」を考えて行きましょうというみたいな雰囲気が流れたのですが。

夏に近づいて、とてつもなく大きな波となって第7波が襲い来ることとなりました。一日平均が25万人というようなPCR陽性者の感染者の数が1カ月あまり続く事態になって、累計で2000万にもなるろうとしています。ついに世界一の感染国になりました。業務対応ができないとして、感染者の全数把握はしなくていいということで、最近のニュースでは総数が表示されず実態がわかりづらくなっています。政府の対応も「オミクロンみんなでかかれば怖くない」？と思っているのかと勘繰りたくなるほど無策の「究極のウイズコロナ」で、大丈夫なのか。

お隣の国では「ゼロコロナ」を掲げて1000万人都市封鎖=ロックダウンという手法で臨んでいますが、それぞれの効

果と社会的犠牲をどう評価するか大きな選択肢のようです。感染症状も個人的に違うので、個々人が新しい知識を取り入れて自己免疫・自己防衛をしていかなければならない局面が続くそうです。今年も感染対策をして、できるだけ簡素化した大会をもつことにします。この1年間執行委員会では、リモート会議ができるようにZOOMの学習と条件整備に取り組んでいるところですが、組合員の参加を促すためにも、大会時に利用できるようにしたいと思います。

核兵器使用の第三次世界大戦に突入？ ロシア軍のウクライナ侵攻

演習と言うことで集結していたロシア軍が、2月24日国境を越えて侵攻して「ウクライナ戦争」の勃発となりました。主権国家に対する武力行使と言うことで、第一義的には「ロシアが悪い」ということで、欧米(NATO)を中心に「ドルの金融制裁をはじめ全面的な経済制裁の発動」がなされました。日本の岸田政権も歩調を合わせようとしています。しかし欧米以外の同調はわずかで、中国やインドのように、ガスや石油を安くなった

ロシアから大量に買い付けるような国が増えています。エネルギー・食糧の制裁の影響は、世界的流通に混乱と大打撃をあたえています。

世界第一の覇権国家であるアメリカも、それより小さい第2の覇権国家であるロシアも、共に世界の国々からの信頼と信用を失い、それぞれの覇権が揺らいでいくだけのようです。覇権に頼らない平和的な各国との交流の在り方を模索していく非同盟の流れも強まっています。ラテンアメリカ・アジア・中東・アフリカなどの諸国の多くは、それぞれの国情に応じた外交をおこなっています。開戦の当初、世界中が「核戦争」と「第3次世界大戦」への恐怖にパニック状態になって、「防衛と軍事」「核兵器・核武装」についての関心が高まりました。平和と非軍事の願いは「お花畑」扱いされて、軍備増強を唱える勢力が衆議院選挙・参議院選挙で勢力をのぼし、「護憲」「平和」を訴える声は後退を強いられました。しかし「アメリカに頼って」「最新兵器で早期に決着つける」みたいな話も、現実性は薄く泥沼化の道にはまり込んでいくだけのようです。

開戦からすでに半年たちました。双方ともに言い分があって根が深く「戦闘意欲も旺盛」なので、戦局は膠着したまま推移しそうなので停戦・終戦はまだまだ見通せないようです。残念ながら、数年たっても終わりの見えない闘いになるかもしれませんが、その間に世界の体制と秩序は大転換していきそうです。

日本も厳しい選択が迫られてきます

昨年10月自民党総裁選で岸田政権の誕生しすぐの衆院選挙で、野党が足なみそろえる間もないことで、与党圧勝となりました。立憲民主は、野党共闘に乗り選挙区での奮闘の成果もあったのですが、比例区で伸び悩み議席を減らしたことで、

共産党との選挙協力が比例票を減らした原因とされました。枝野代表の辞任となり泉氏が新しい代表となりました。「ゆ党」としての維新の躍進。国民民主党の「与党入り」という右攻勢のなかで、有効的な対抗策をだせないままに参議院選挙になって、さらに押し込まれる結果になってしまいました。改憲勢力が衆参2/3を占めることとなったので改憲プロセスがはじまることとなります。

その選挙期間投票前々日、奈良での選挙応援中に安倍元首相が銃殺テロルにあうというショッキングな事件が起きました。「戦後レジームからの脱却」を唱えて「戦後民主主義」から戦前回帰を匂わせていた結果が、悲惨なテロルを呼び出したとしたら、皮肉なことになっています。岸田内閣は国民多数の反対が示されているなかで、安倍元首相の国葬儀を9月27日実施することを閣議決定しました。「統一教会」と自民党の癒着、その先頭に安倍元首相が居たこと、犯人が怨念と殺意を抱いて実行したことを考えれば、もっとひっそりとした葬儀のほうが、遺族や本人にとつてもいいような気がします。国葬儀とすることには賛成できません。

統一教会による自民党のカルト化 安倍自民党による日本社会のカルト化

統一教会の思想的な核心は、「日本の保守正統派」の基本的な考えとは本来は相いれないものです。民主党時代から政権を奪還した第2次安倍政権は、「2度と野党になりたくない」、そのためには「なにがなんでも選挙に勝つ」として統一教会との関係を強めるという「禁断の手」を使うこととなりました。8年8カ月に及ぶ第2次政権の総括が求められるところですが、「1強のリーダー」と持ち上げた国民世論も考え直さないと大変

なことのようにです。自民党は、もっとまじめに反省して安倍元首相の銃殺事件を深刻にうけとめるべきだと思います。

世界的な物価高騰を始め経済混乱が押し寄せてきます

戦後世界は、グローバル金融資本がアメリカのドルを基軸通貨として利用して経済を支配してきました。負債を資産に衣替えして流通させた「信用創造」を駆使して、金が金を生む世界を作り出してきました。ゼロ金利・マイナス金利まででの低金利を続け、「無理筋の経済成長」を演出して、「株価倍増」「配当倍増」など、土地・金融資産をもつ人々が喜ぶ政策をおこなってきました。その反面、グローバル資本に調達される「労働力（賃金）」と原料・資源価格は、「資本の優位」の力関係で買ったたかれる局面が続いてきました。不満は世界中にひろがっています。

欧米（G7）がウクライナ侵略を理由にロシアに経済制裁をかけた時に、BRICS+（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）や中東産油国は同調せず、むしろロシアに協力的な姿勢を示しました。発展途上国の多くは、アメリカの経済制裁の正義には疑問符をつけています。

ロシアのガスの供給に不安が増すヨーロッパでは、冬を控えて、天然ガスの価格が6から10倍に跳ね上がり、ドイツ・フランス・チェコ・スロベニアなど、各地で「ウクライナへ武器を送るより我々にガスをおくるようにしろ」「いつまでも戦争してくれるな。早く停戦しろ」というデモがおきています。

アメリカの中央銀行であるFRBが。このままではハイパーインフレになるとして、「負債経済」からの転換を始めました。8パーセントものインフレ物価高だとして、段階的に金利を0.25から2.5

へと10倍にし、更なる追加も言明しています。借金づけのローン破たんや、企業の資金繰りのゆきづまりが顕在化してくるようです。11月には中間選挙がせまっています。実質「内戦状態」とも言われる民主・共和（トランプ）のどちらが勝つかで大きな変化が起きそうです。

「アベノミクスからの脱却」に苦しむことになる日本

日本の零金利を上げられない黒田日銀総裁。日米金利差による円安が続き9/10現在1ドル145円目前。日本の経済的地位の没落と、更に一段の物価高にみまわれることとなりそうです。低利の金利に慣れて、知らずに債務奴隷状態。住宅・車・教育等、金利の上昇に苦しめられる時代になっていきます。

こうした情勢の中で国民の生活も限界に達し、自粛生活も限度がある。いつまで待っても届かない国の援助。世間は生活困窮で困っている人ばかりなのに、統一教会に洗脳された自民党を支持して、政治を任すという選択する有権者。前途多難な時代が続くけれどあきらめず。働く者の味方の労働組合として頑張りましょう。

支部・分会の活動

太平ビルサービス分会、堺化学分会、宝塚分会、樋口商店分会、日経分会の活動

太平ビルサービス分会は、①新型コロナウイルス対策として、冷感マスクと使い捨て手袋の支給、②熱中症対策として、塩飴の配布と経口補水液の各職場への備付、屋外で勤務する従業員に対する首掛け扇風機の支給を勝ち取るなど、安全で安心して働ける職場をつくるために力を注いできました。

今年の2月、太平ビルサービス大阪（以下会社）が清掃業務を行っている和歌山の病院で、新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。病院は、会社に対して、日常の清掃業務の延長上で、病室の消毒業務を行うよう要請しました。会社は、消毒作業を行うには、しっかりと感染予防対策を行うことが必要であるとして、日常業務の延長上での消毒作業の実施を拒否しました。病院は、会社が消毒作業を行わないことを理由に、契約の解除を会社に通告しました。支部・分会は、組合員の雇用の確保を病院に要請し、病院で働くことを希望する8名の組合員中6名が、引き続き病院で働くことになりました（その後2名が辞退）。

太平ビルサービス分会では、今年も定年退職によって5名の仲間が職場を去っていきました。定年退職に伴う人員補充の実施と建設支部への組合加入、定年制の延長を会社に強く要求していく必要があります。分会は、ホームページの公開と他地域の職場への分会ニュースの配布など、組織拡大活動を継続しています。

堺化学分会と宝塚分会は、し尿処理・汲み取り労働者として社会生活を支えてきました。堺市と宝塚市では、し尿汲み取り数の減少に伴い、し尿処理業務の再編が急速に進んでいます。

堺市のクリーンセンターの運転業務は、これまで堺化学が随意契約で行ってきました。しかし、堺市は今年度末をもって、随意契約による発注を行わないことを明らかにしています。支部・分会は、発注がどのような形になろうとも、組合員が浄化ステーションで働く続けることができるよう、堺市に要請してきました。今年度の末に向けて、引き続き堺市への要請活動を行っていかねばなりません。

宝塚市では、クリーンセンターの建替え工事が今年度から始まります。それに伴い宝塚都市環境サービス（株）の事務所がある焼却棟の解体工事が、令和9年予定されています。組合員の雇用の確保するために、解体工事後も、宝塚都市環境サービス（株）の事務所と駐車場を保障するよう、宝塚市に要請していきます。宝塚分会では、長い間組合活動を支えてきた二名の方が今年退職し、新しく二名の方が組合に加わりました。

樋口商店分会は、4月15日に第一回の春闘交渉を行いました。会社のゼロ回答に対して、支部・分会は、会社が提出した「損益計算書」の説明を求め、同計算書に基づいても賃金引き上げの余力が十分にあることを主張しました。しかし会社は、第2回の団体交渉を開かず、現在に至っています。また、夏の一時金交渉

においても、昨年同額の寸志を支給するという回答書を支部に送付したのみで、社長の健康を理由に団体交渉を行っていません。今後も粘り強く団体交渉を要求し、会社の経営状況を明らかにさせていく必要があります。

日経分会は、昨年、70歳までの雇用延長を勝ち取りました。2名の組合員は、職場で培ってきた経験と信頼、営業力をもとに、元気に働いています。

三座分会、古川分会の活動

三座建築事務所は、昨年の7月に創立80周年をむかえました。今年の4月には、3名の新卒者を職場に迎え、更なる10年に向けて一步を踏み出しました。また、今年の春闘においては、定期昇給に加えて、ベースアップを実施しました。

古川分会は、新しい体制になって1年6カ月。コロナ禍の中、受注の減少に苦しみながらも、粘り強く職場を守り抜いて

います。

ホームページとオンライン会議の活用

現在、支部のホームページには、一日平均14名、ひと月で延べ400名がアクセスしています。支部のホームページには、支部の機関紙「地平線」、大平分会の分会ニュース、西成分会の機関紙「大阪城」を掲載しています。

この1年間、オンラインで会議を開くことができる体制づくりを進めてきました。現在、支部の執行委員会には、オンラインで参加することが可能です。今年は、太平ビルサービス分会のホームページを見て、徳島の清掃労働者から相談がありました。オンラインでの労働相談や打ち合わせなどを通じて、職場ごとに分断されているビルメン労働者やパート・有期雇用労働者が、情報を交換し気楽に語り合えるネットワークを創っていきたいと思います。

今後の予定

- | | | |
|----------|---------|---|
| 9/20(火) | 13:30 | 地本執行委員会 |
| | 18:30 | 弁護士相談会 |
| 9/24(土) | 13:00 | 日中国交正常化50周年記念・中国文化財返還運動大阪集会(難波市民学習センター) |
| | | 講演 浅井基文さん |
| 10/2(日) | 10:00 | 建設支部第50回定期大会(PLP会館) |
| 10/22(日) | 13:50 | とめよう!戦争への道・めざそう!アジアの |
| | ~ 15:35 | 平和(エルシアター エル大阪2階) |
| | | 閉会后デモあり |

建設
支部
HP



今年の大会は

10月2日

PLP会館

環状線天満

地下鉄扇町



ZOOM(オンライン)参加もできますよ

スマートフォン、パソコン、タブレットでも参加できます

10月2日午前9時30分から参加できます

参加は以下の方法で

①QRコード読み取り



②支部メールアドレスへ
申し込む

kensetsu@crux.ocn.ne.jp へ送信

尾崎勝治さん水彩画展

9/17 ~ 9/22 天三おかげ館

大胆な線描と
エッジの利いた陰影が魅力の風景画を
お楽しみください。

尾崎勝治・水彩画 総集展

2011 年 中之島中央公会堂

- 2022年 9月17日(土)~9月22日(木)
- 天三おかげ館 (10:00~19:00)
最終日 16:00まで

〒530-0041 大阪市北区天神橋3丁目5-15
※会場地図は裏面をご参照ください。

「尾崎勝治・水彩画 総集展」実行委員会
幹事 田中淳介 090-5129-8335
〒530-0057 大阪市北区曾根崎2丁目9-6
居酒屋ほっぽう内

リアル
出席は

変動する厳しい経済情勢の社会で働き生き抜くため、10/2建設支部第50回定期大会を勝ち取り労働組合運動を前へ進めて行きましょう。

10/2(日)の支部大会以降は、11月初めに冬季一時金はじめ職場要求など秋年末諸要求を各経営側に提出し団体交渉を進めていきます。各分会・各職場の要求を、今から点検し掘り起こし執行委員と相談しながら冬の要求書を作るようしていきましょう。

ともに、秋年末闘争に勝利しましょう。



オンライン
参加希望は

kensetsu@crux.ocn.ne.jp
へメールを送ってください

建設
支部
HP



今後の予定

9/5(月) 18:30	支部執行委員会
9/7(水) 9:00 ~/8	全港湾第93回定期全国大会(新潟)
9/8(木) 18:30	日朝日韓連帯ヨンデネット
9/9(金) 18:30	「やめろ 安倍国葬」緊急集会～闘いの中で 私たちは訴える (エル大阪南館5F(集会実行委員会))
9/13(火) 9:00	全国港湾第17回定期大会
9/14(水) 9:30	地本労職対
9/19(月) 13:30	9/19安倍元首相の国葬反対・大阪集会 講演 高作正博さん(関西大学法学部教授) 「国葬問題は私たちに何を問うているか」 (PLP会館5F)
9/20(火) 13:30	地本執行委員会
18:30	弁護士相談会
9/24(土) 13:00	日中国交正常化50周年記念・中国文化財返 還運動大阪集会(難波市民学習センター) 講演 浅井基文さん
10/2(日) 10:00	建設支部第50回定期大会(PLP会館)